

山形県感染症発生動向調査 週報

2026年 第20週

(2026年5月11日～2026年5月17日)

2026年5月20日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109

< 定点把握感染症 >

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

定点種別	感染症	全国			山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)												
		第19週	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週		増減											
急性性呼吸器	内科・小児科 (定点医療機関数)	(39)			(7)			(10)			(4)			(6)			(12)			9660															
	インフルエンザ	662	34	21	▼	6	3	▼	3	4	△	4	1	▼	16	8	▼	5	5		▼	0.18	0.89	0.54	0.86	0.43	0.30	0.40	1.33	0.25	2.67	1.33	0.42	0.42	
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	1266	16	24	△	1	4	△	3	9	△	2		▼	7	8	△	3	3			0.34	0.42	0.62	0.14	0.57	0.30	0.90	0.67	1.17	1.33	0.25	0.25		
小児科定点	(定点医療機関数)	(26)			(6)			(7)			(3)			(3)			(7)			2420															
	RSウイルス感染症	615	14	13	▼	1		▼	7	8	△				4	4		2	1		▼	0.27	0.56	0.50	0.17		1.00	1.14	1.33	1.33	0.29	0.14			
	咽頭結膜熱	586	3	10	△				2	6	▲	1	1	▼		1			2			△	0.26	0.12	0.38			0.29	0.86	0.50	0.33	0.29	0.29		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3637	53	131	△	4	24	△	26	57	△		4	△	12	19	△	11	27		△	1.61	2.12	5.04	0.67	4.00	3.71	◎8.14		1.33	◎4.00	◎6.33	1.57	3.86	
	感染性胃腸炎	6970	61	82	△	8	17	△	16	17	▲	4	9	△	18	15	▼	15	24		△	3.09	2.44	3.15	1.33	2.83	2.29	2.43	2.00	3.00	6.00	5.00	2.14	3.43	
	水痘	874	31	32	▼	4	5	▲	10	4	▼	8	3	▼		2			9		18	▲	0.39	◎1.24	◎1.23	0.67	0.83	◎1.43	0.57	◎4.00	◎1.00		0.67	◎1.29	◎2.57
	手足口病	800	1	10	▲					1					1	9	▲					0.35	0.04	0.38						0.33	3.00				
	伝染性紅斑	120	3	3		2		▼		1		1	2	▲								0.05	0.12	0.12	0.33			0.50	0.67						
	突発性発しん	540	6	6	▼	3	2	▼		1			1			1			3		1	▼	0.24	0.24	0.23	0.50	0.33		0.33		0.33	0.43	0.14		
	ヘルパンギーナ	133																				0.06													
	流行性耳下腺炎	62	1		▼	1		▼														0.03	0.04		0.17										
眼科定点	(定点医療機関数)	(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			86															
	急性出血性結膜炎	7																			0.01														
流行性角結膜炎	251	2	1	▼				1		▼	1	1								0.36	0.25	0.13	0.33			1.00	1.00								
基幹定点	(定点医療機関数)	(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			41															
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	30																			0.06														
	クラミジア肺炎	4																			0.01														
	マイコプラズマ肺炎	81		1	△		1	△													0.17		0.10		0.50										
	細菌性髄膜炎	8	1	1			1	△											1			0.02	0.10	0.10		0.50					0.33				
無菌性髄膜炎	11																			0.02															

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 通信欄 >

〇トピックスで、「つつが虫病」について掲載しています。

警報・注意報の基準値(参考値)

疾病名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、警報・注意報の基準値については参考値として取り扱います。

- ・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
- ・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
- ・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

<定点把握感染症 年齢別報告数>

種別点	感染症	年齢													合計		
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳		20～29歳	
急性呼吸器感染症定点	内科・小児科																
	インフルエンザ					1	1		1		4	2	6	2	2	21	
		30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～										
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	24	
1		1	5	1		2	1	3		2	1	2					
30～39歳		40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～											
小児科定点	RSウイルス感染症	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	13	
	咽頭結膜熱		3	4		1	1				1					10	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		2	9	9	9	13	13	13	18	18	22	1	3	131	
	感染性胃腸炎		12	21	8	1	5	3	8	2	5	1	13		3	82	
	水痘		1			1	2	1			2	7	3	15		32	
	手足口病			8	2											10	
	伝染性紅斑				1									2		3	
	突発性発しん		1	5												6	
	ヘルパンギーナ															0	
	流行性耳下腺炎															0	

<全数把握感染症>

感染症	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核		1				
腸管出血性大腸菌感染症	1	1		1		型別:O26 VT不明(1)、O血清群不明 VT2(2)
つつが虫病				1		
アメーバ赤痢					1	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					
梅毒	1					
百日咳					1	ワクチン接種歴:4回

<トピックス>

つつが虫病に注意!

第20週に県内で今年度初めてのつつが虫病患者の発生がありました。つつが虫病は、病原体(つつが虫病リケッチア)をもつツツガムシ(ダニの一種)の幼虫に刺されることによって感染するダニ媒介感染症です。山形県では例年春から初夏と秋から初冬に報告があります。山や田畑で農作業、山菜採り、レジャーなど野外活動をする際には、ダニに刺されないように注意しましょう。

図 つつが虫病山形県月別報告数(2021年～2026年第20週)

症状

5～14日の潜伏期の後、38～40℃の高熱、全身倦怠感、寒気、頭痛などの風邪様症状を発症します。発熱後2～5日後にほぼ全身にわたって赤い発疹が現れ、刺された部位は黒色のかさぶたを伴う特徴的な刺し口となります。

対策・注意点

○山や田畑、河川敷に立ち入る際には以下の対策を行いましょう。

- ・ 長袖、長ズボン、長靴、手袋を着用し、首にタオルを巻くなど肌の露出を控える
- ・ 草むらに直接座るのを控える
- ・ ツツガムシに効果のある虫よけ剤を使用する
- ・ 帰宅後は早めにシャワーで全身を洗い流し、衣服は洗濯する

○治療が遅れると重篤になる場合があります。ダニが生息しているような場所に立ち入ってから数日後に体調の変化を感じたら、早めに医療機関を受診しましょう。

上記は以下を加工・編集して作成しています。詳しくはこちらをご覧ください。

※1 山形県 プレスリリース

※2 衛生研究所微生物部 リーフレット

※3 厚生労働省 ダニ媒介感染症

【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

< 定点把握感染症 >

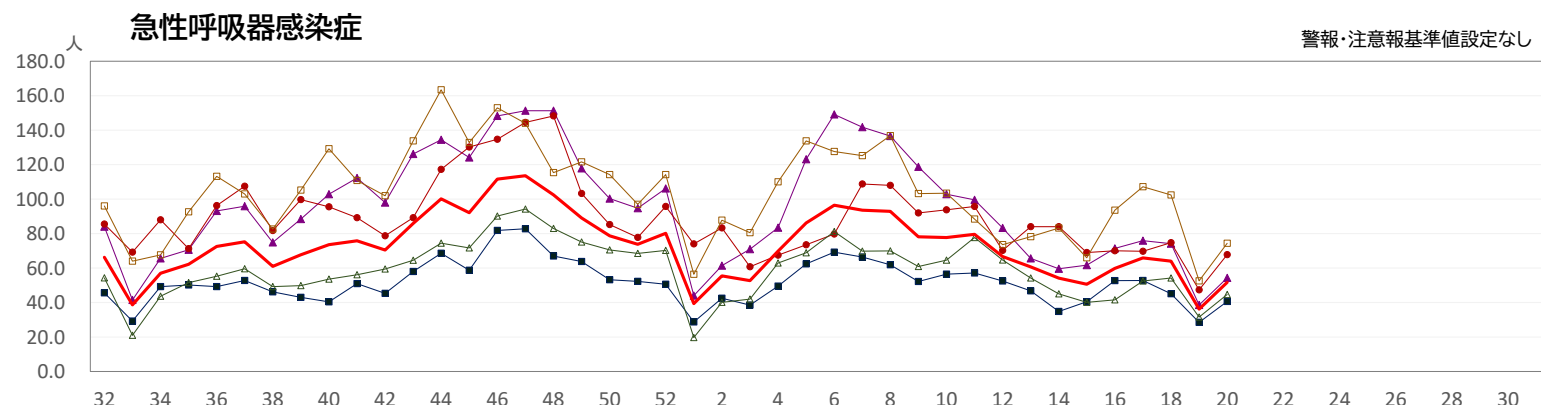
感 染 症	全国	山 形 県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県) 第1~20週
	第19週	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)		(38)			(7)			(10)			(4)			(5)			(12)			
急性呼吸器感染症	135274 36.32	1339 36.19	1965 51.71	△	270 38.57	380 54.29	△	285 28.50	406 40.60	△	142 47.33	271 67.75	△	263 52.60	372 74.40	△	379 31.58	536 44.67	△	50081

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
 ・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

感 染 症	山 形 県													合計
	第20週													
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1~ 4歳	5~ 9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳~		
急性呼吸器感染症	161	856	400	178	60	34	48	43	40	61	56	28	1965	

< 定点当たり報告数グラフ >



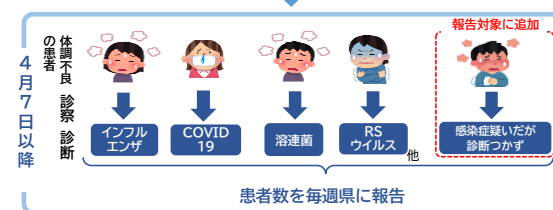
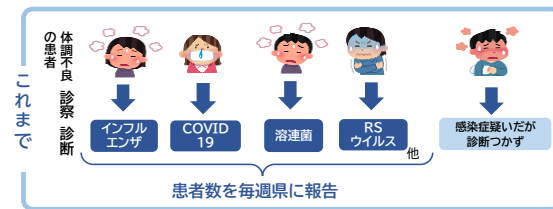
急性呼吸器感染症(ARI)
サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が2025年4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始まりました。

ARIサーベイランスは、症例定義※に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。



詳しくは
厚生労働省HPへ ▶▶▶

